

# 地域公共交通事業者支援事業（令和3年度）の実績報告について

## 1. 地域公共交通事業者支援事業の概要

コロナ禍において人流抑制の影響を受けながらも運行を継続しているタクシー事業者に対し運行経費の一部を支援した。

## 2. 支援金の効果検証について

本支援金は「新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金」を活用しているため、規定に基づき、活用状況等についてアンケート調査を実施した。

(回収率 法人：89% 個人：98%)

### <実施概要>

対象：市内に事務所が所在するタクシー事業者  
(個人事業主を含む)

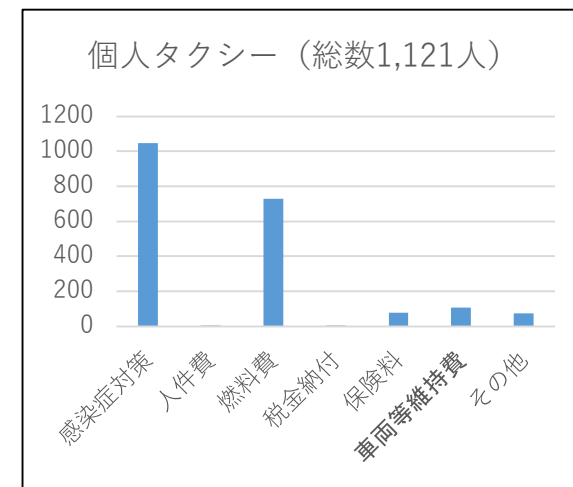
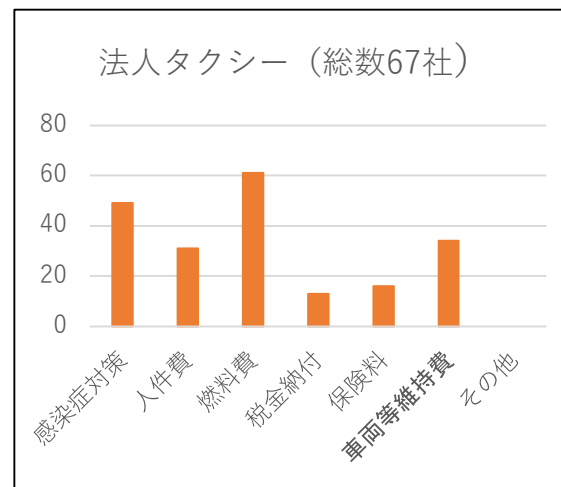
金額：車両1台あたり10,000円

台数：5,458台（当初想定：6,000台）

(法人タクシー4,321台、個人タクシー1,137台)

実施時期：令和4年2月1日～令和4年3月31日

### <アンケート結果（抜粋）> ※複数回答可



### <支援実績>

区分	支援件数	支援金額
法人タクシー	75件	43,210,000円
個人タクシー	1,137件	11,370,000円

- 法人タクシーにおいては、燃料費への活用が多く、感染症対策、車両等維持費が続いた。
- 個人タクシーにおいては、感染症対策と燃料費への活用が大半であった。

## 燃料費高騰の影響を受けている交通事業者への支援について（令和4年度）

原油価格高騰などにより厳しい状況が続くバス・タクシー事業者に対して、市民の移動手段を維持・確保する観点から、以下の通り支援します。

### ◆ 実施概要

#### ① 乗合バス事業者

- ・対 象 : 市内の路線バスを運行する乗合バス事業者
- ・補 助 額 : 車両1台あたり70,000円
- ・想定台数 : 約2,300台（14事業者）
- ・申請時期 : 令和4年10月3日から令和4年11月30日まで
- ・交付時期 : 令和4年10月～

#### ② 横浜市地域交通サポート事業

- ・対 象 : 同事業のうち、①に該当しない運行事業者
- ・補 助 額 : 令和4年4月から令和5年3月までの燃料費のうち、価格高騰分を補助
- ・申請時期 : 令和4年10月3日から令和4年11月30日まで
- ・交付時期 : 令和4年10月～

#### ③ タクシー事業者

- ・対 象 : 市内に事業所が所在するタクシー事業者（個人事業主を含む）
- ・補 助 額 : 車両1台あたり24千円
- ・想定台数 : 約6,000台（法人タクシー約4,800台、個人タクシー約1,200台）
- ・申請時期 : 令和4年9月20日から令和4年10月21日まで
- ・交付時期 : 令和4年12月

### （参考）横浜市内における燃料費の単価推移について

